



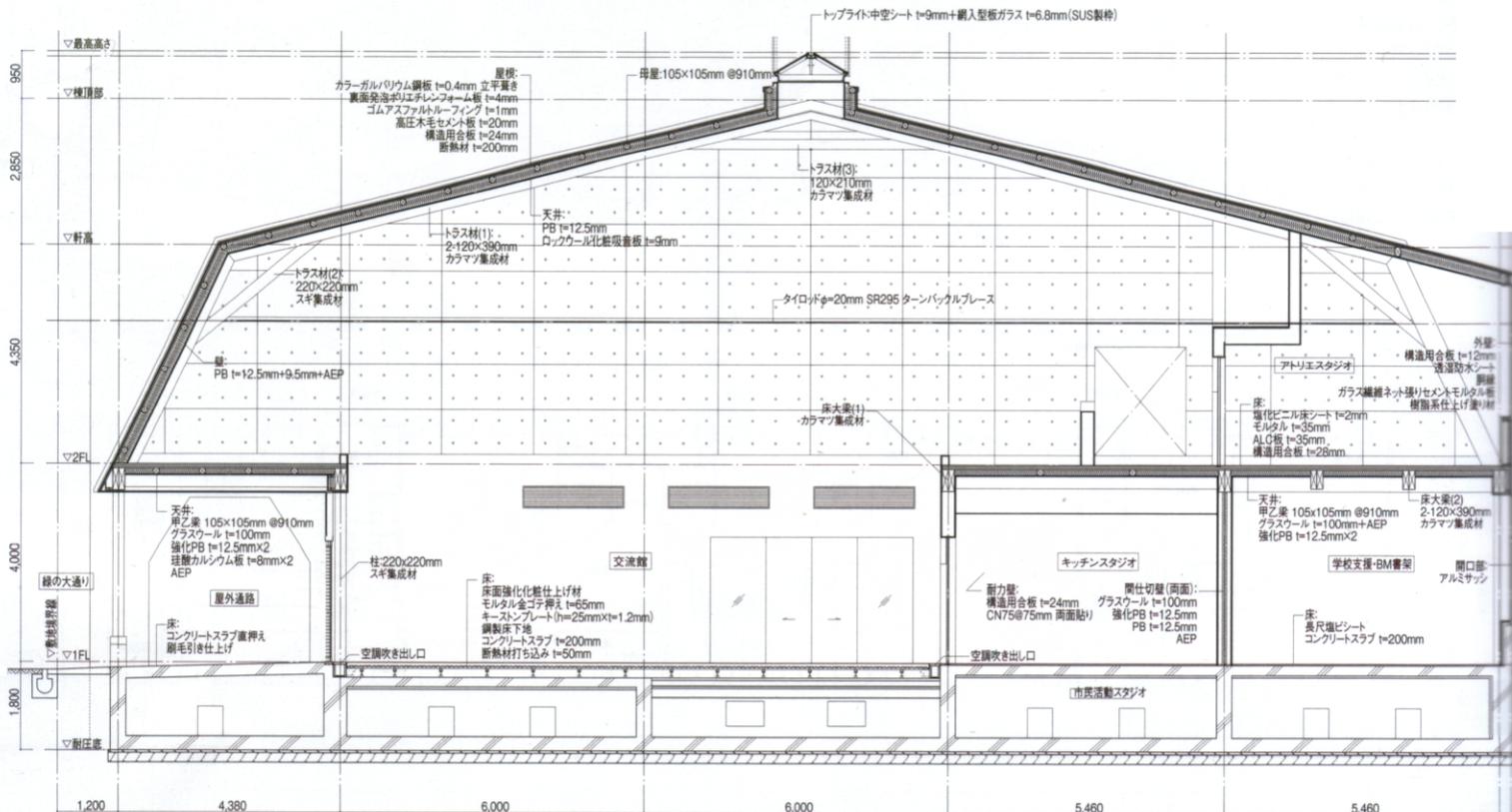
東北研修旅行 スケジュール

1日目 4/20(土) 岩手県		備考
岡山 新大阪	06:00発 → 06:48着 新大阪	のぞみ104号 空港連絡バス
8:15 大阪(伊丹) 9:35 花巻空港	07:15発 07:40着 大阪空港[伊丹] 8:15発 → 09:35 花巻空港着	JAL2181
所要 16.4 km、23 分: 奥州街道(陸羽街道)/国道4号線		
10:10 オガールプラザ 紫波 近代建築研究所・中井敬一都市建築	岩手県紫波郡紫波町紫波中央駅前 http://www.ogal-plaza.com/index.php	大型木造複合施設
所要 42.4 km、59 分		
1:00 南部曲り家千葉家	〒028-0533 岩手県遠野市綾織町上綾織1-14 一般350円	TEL 0198-62-9529
食事処: 伊藤家 物産館: 赤羽根蔵 所要: 39.6 km、51 分	〒028-0515 岩手県遠野市中央通り2-11	
3:00 住田町仮設住宅群	岩手県気仙郡住田町世田米字川向96-1 住田町 総務課千葉さん 佐藤さん TEL0192-46-2111 盛街道/国道107号線	
所要: 18.6 km、27 分		
4:30 リアスホール(大船渡)・図書館 新居千秋都市建築設計	岩手県大船渡市盛町字下館下18-1 佐々木さん TEL0192-26-4478 浜磯街道/国道45号線	
所要16.6 km、27 分		
17:00 陸前高田みんなの家 (伊東 豊雄、乾久美子等設計)	岩手県陸前高田市高田町大石31	
所要: 49.1 km、1 時間 9 分		
19:00 南三陸町 平成の森 宿泊施設	宮城県南三陸町歌津字柀沢28-1 http://taihei-sendai.com/index.html	TEL 0226-36-3115 平成の森 管理事務所
●2日目 4/21(日) 宮城県		
ホテルから: 12.0 km、20 分		
9:00 あさひ幼稚園 (手塚 貴晴設計)	宮城県本吉郡南三陸町志津川字中瀬町47-1	
所要: 56.2 km、1 時間 37 分		
11:00 女川仮設住宅 (一部KES 坂 茂設計)	〒986-2261 宮城県牡鹿郡女川町女川浜字大原316 女川町役場仮設庁舎	TEL :0225-54-3131
12:00 マリンバル女川おさかな市場	宮城県牡鹿郡女川町浦宿浜篠浜山2	
所要: 12.3 km、25 分		
13:30 井内保育所(石巻) (ユニセフ、アグネスチャン)	女川街道/国道398号線と 県道 石巻市新栄1丁目24	
所要: 3.3 km、10 分		
石ノ森萬画館(石巻)	県道192号線 宮城県石巻市中瀬2??	
宮古島のみんなの家 SANAA設計		
石ノ森漫画館一文化会館 59.9 km、1 時間 3 分 三陸自動車道経由		
15:30 名取市文化会館多目的ホール 楨総合計画研究所	名取市増田字柳田520	
所要: 11.9 km、20 分		
17:00 スマイルホテル仙台国分町	〒980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町4-3-22	
3日目 4/22(月) 山形県		
ホテルより : 67.5 km、1 時間 4 分		
10:00 山形シェルター本社	東北自動車道、山形自動車道 山形県山形市松栄1-5-13	
所要: 5.5 km、13 分		
12:00 そば処庄司屋 御殿堰七日町店(KES):	山形県山形市七日町2丁目7-6	
所要: 5.9 km、15 分		
1:30 エコハウス山形 みかん組竹内昌義	県道16号線 山形県山形市上桜田3丁目2-37 住まいの温暖化対策やまがた協議会 事務局	TEL:023-679-3340
所要: 11.6 km、30 分		
2:30 最上川ふるさと総合公園 内藤廣 設計	寒河江市大字寒河江字山西甲1269	
所要: 28.4 km、44 分		
15:30 シェルター寒河江工場	山形県寒河江市大字米沢字東209?1	
所要: 13.1 km、26 分		
17:15 山形空港		
18:00 山形空港発	19:20 大阪(伊丹)着 JAL2238 J-AIR運航	
19:35発 大阪空港[伊丹] →20:05着 新大阪着 空港連絡バス行		
20:26発 新大阪発 → 21:11着 岡山 のぞみ119号		

オガールプラザの構造

オガールプラザの水平力に対する構造計画は、木造部分の負担水平力を、構造用合板直張り水平構面を介して、隣接する鉄筋コンクリート造の耐震壁に負担させることにより、1階・2階とも木造部分は壁のないフレキシブルな大空間を成立させている。ただし、大きな吹き抜け等のため水平力を伝達しきれない箇所には、適宜梁間方向に構造用合板張り耐力壁を設けている。木造棟の2階部分は、28mスパンの腰折屋根型の方杖付き2ヒンジ山形ラーメンを1.8mピッチで並べた架構であり、登り梁は120mm×390mmの集成材

を二丁合わせとして、方杖材を挟み込んでボルトやビスで接合する。頂部の挟み込み部分の納まりは、顎が引っ掛かることにより直接木材同士で応力伝達できる仕口形状としている。山形ラーメン架構の脚部は、スラストによる開きを抑えるためにタイロッドφ=20mmを、2階床梁上面の構造用合板の継ぎ目部分の間に水平に渡している。木造棟の2階床組は、長さ6m以下のカラマツ中断面集成材2丁合わせと、住宅用プレカット梁受け金物を使用することによって、低コスト化と工期短縮を実現させている。(稲山正弘/ホルツストラ)



断面詳細 縮尺1/150

1998年

1999年

2008年

2009年



1998年に紫波町が岩手県より、紫波町駅前の約10haの土地(写真中央の空地)を購入。その土地に公共施設を集約させようとするものの、手がかすのままで放置されることに。唯一、多目的スポーツ施設サンビレッジ紫波が1999年にオープン。*



東洋大学との連携調査、基本計画などを経て駅前都市整備事業「オガールプロジェクト」がスタート。公民連携(PPP)による駅前開発事業とした。*



オガールデザイン会議は、オガールプロジェクトの公共空間のあり方を検討するために設置。市民参加型ワークショップ形式により検討を行った。ワークショップメンバーとデザイン会議メンバーの両方のアイデアがデザインに生かされ、参加メンバーが納得できるイメージ図ができあがった。*



オガール広場

この広場は中核施設となるオガールプラザを含め将来的には計4棟となる予定の施設群の間に伸びる幅27m、長さ280mの空間である。今回は東部分のみ竣工となるが、デザイン会議という場で常にイメージを共有し、市民の方々のワークショップを通してこの場に本当に必要な姿を探してきた。広場は皆に使われる場であると同時に、外に対して開かれた場所でもある。このふたつを両立させるイメージが必要であった。

広場は大きな中庭である。施設を繋ぎ合わせ、内部で出来ないアクティビティや空間の質を補完する。まちの「えぐね」(散居地域特有の防風林)と名付けた木立が芝生広場を分節し、えぐねの中にはたくさんの小道が張り巡らされて互いの自由な行き来を誘う。あちこちにさまざまな行為の機会が用意され、道はあえてそれらを実通している。スタジオは雨や季節風を避けて屋外で過ごす機会を提供し、芝生広場は子どもが走り回り、時にはイベント会場ともなるだろう。このようなイメージで計画が進められた。

(長谷川浩己/オンサイト計画設計事務所)

上左：交流館。アーケードに面した開口は広場に向かって開放可能。上右：子育て支援センター。必要な機能をカラフルな箱状にして、天井の高い空間を保持。中左：交流館と市民スタジオを見る。入口付近に町のコンシェルジュを配置。その隣はスタジオキッチンで栄養教室として使われるとともに飲食を伴うイベント時に活用される。中右：大スタジオ。100席の客席は可動式で多様な市民活動に対応。下左：オガール広場。広場の中に東屋が点在する。*** 下右：飲食店内部。

2010年

2011年

2012年

2014年



2011年4月JFA日本サッカー協会公認岩手県フットボールセンターがオープン。サッカーを通じた交流人口の増加や町の経済発展に寄与する。*



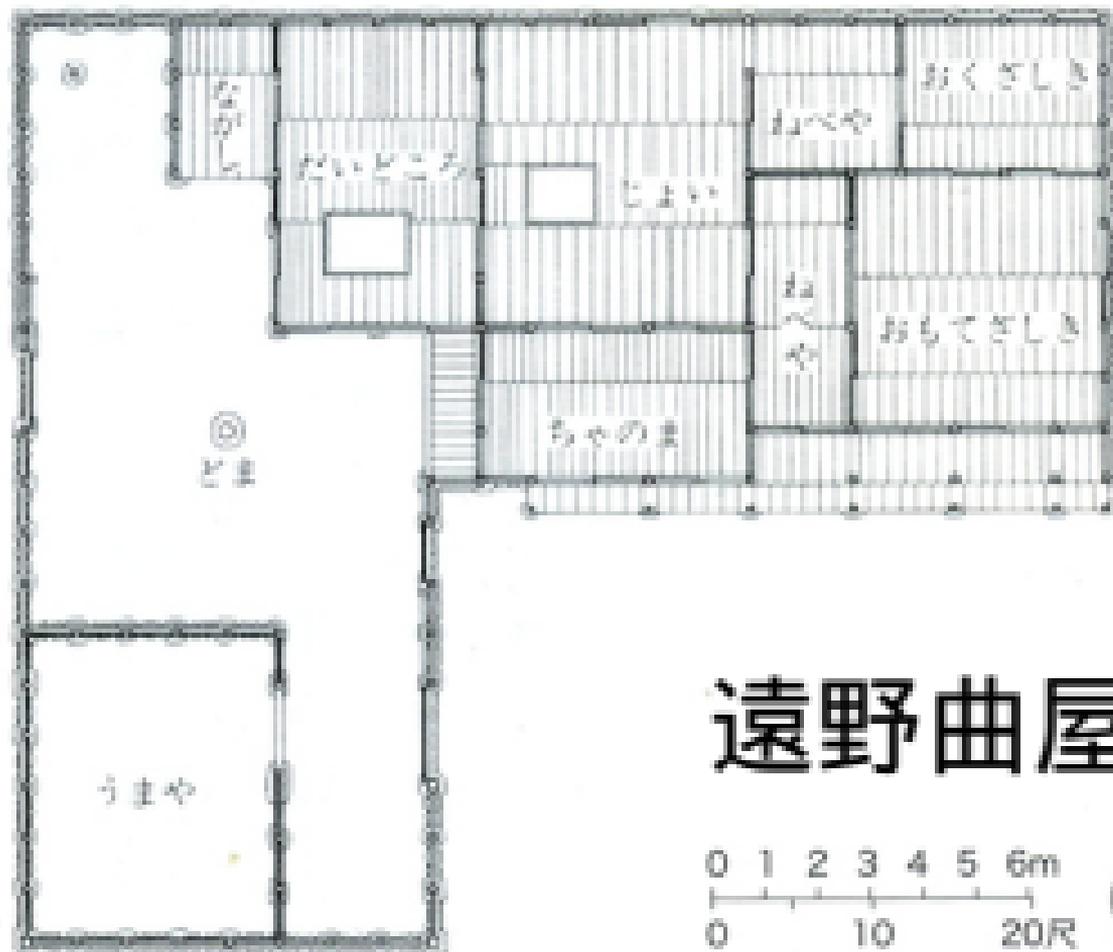
2012年6月20日オガールプラザオープン。開発する町有地にては、紫波町役場が2014年度完成予定。続いて、民間施設を整備予定。(189頁参照)



RFO(アイデア提案)、RFE(公募型プロポーザル)の結果オガールプラザの設計者は近代建築研究所に決定。総工事費は10億7,350万円。**



2011年9月着工。1階部分架構完成の後、この上に床を張ってプラットフォームをつくり、その上で2階のフレームを治具に合わせて組み立てクレーンで吊り上げ定位置に固定した。2012年5月竣工。**



遠野曲屋



住田型応急仮設住宅について

1 背景

- 東日本大震災によって、密接な関係のある近隣市（大船渡市、陸前高田市、釜石市等）に甚大な被害が発生。親類等を頼った町内への避難者は600人を超え、災害対策窓口には住宅に関する問い合わせが多く寄せられた。
- 森林・林業日本一の町づくりを行う住田町では、仮設住宅についての独自の構想があり、震災以前に大まかな設計が完成していた。

2 仮設住宅の建設

- 本来は県が建物を提供するのが原則であるが、早急な対応が必要であったことから、仮設住宅の建設を町独自で決断。
- 予算額 約2億5千万円、町有地に110棟を建設予定。
（一般向け93棟、医療関係者向け17棟）
- プライバシーも守れる一戸建てであり、かつ町産材（主にスギ材）ををふんだんに使用した木のぬくもりを感じることのできる設計である。
また、可能な限り町産のFSC森林認証材を使用。
- けせんプレカットから材を供給し、町内の建設業組合が建設。
部材が揃っていれば、半日で建設が可能。

（建設状況）

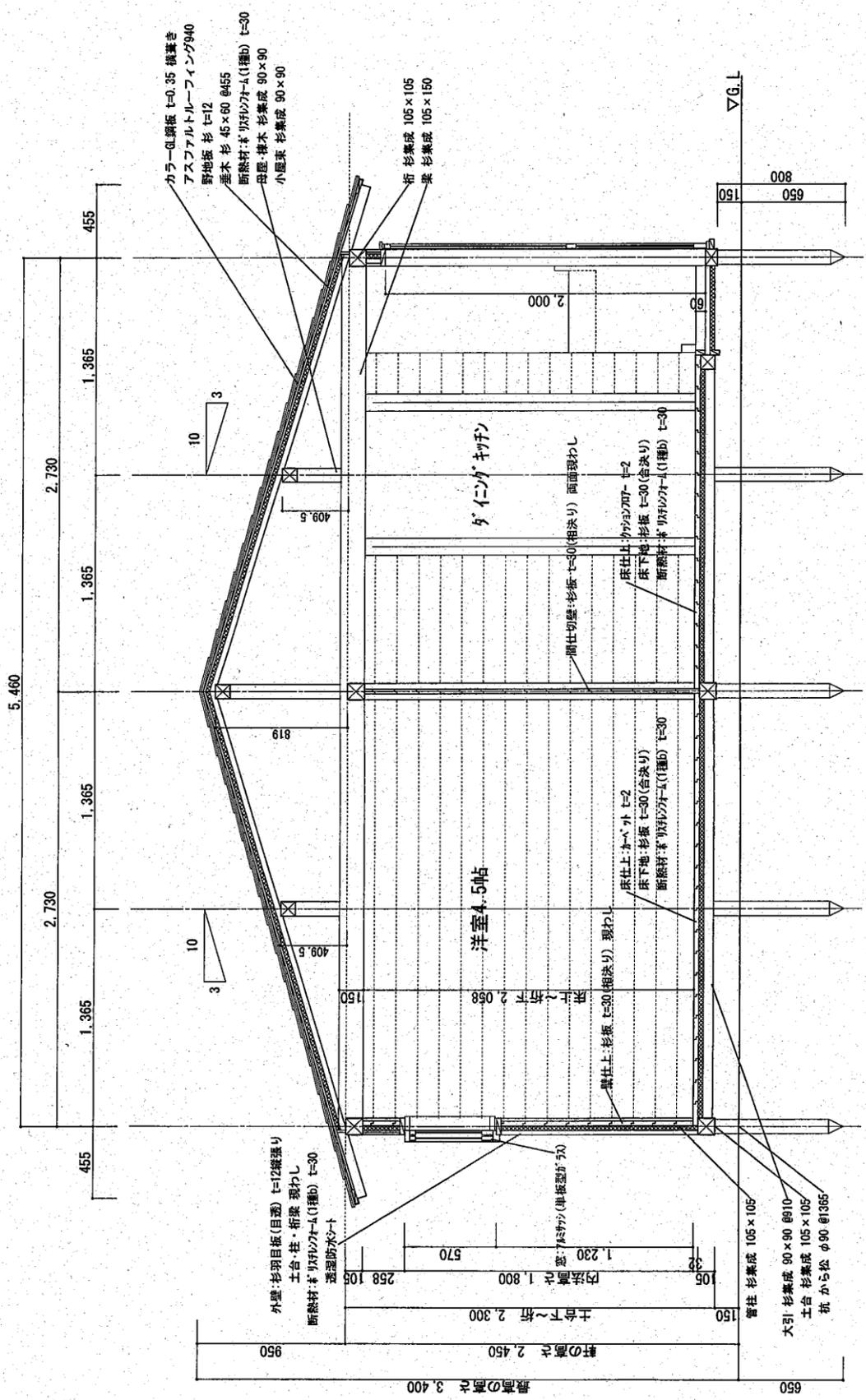


（木のぬくもりが感じられる内装）



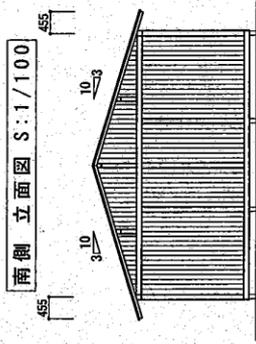
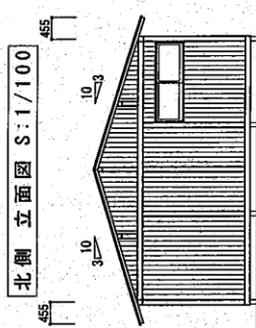
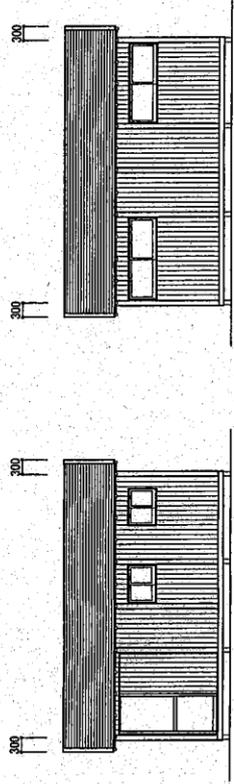
3 仮設住宅についての反響

- 4月5日に開催された説明会には150名以上の参加があり、申込件数は初日だけで80件を超えた。
- 住田町独自の取組に注目が集まり、FSCジャパン、more trees などから建設・維持等にかかる費用について、募金による支援の申し出をいただいている。



矩計図 S:1/25

工事名 東日本大震災 応急仮設住宅 備考 岩手県 仮設住宅標準図 2DK 9型	管理番号 住田町 〒029-2396 岩手県気仙郡住田町世田米字川向96-1 TEL:0192)46-2111 FAX:0192)46-3515		図面NO 2
	担当者 日付	設計者 日付	縮尺 1/25

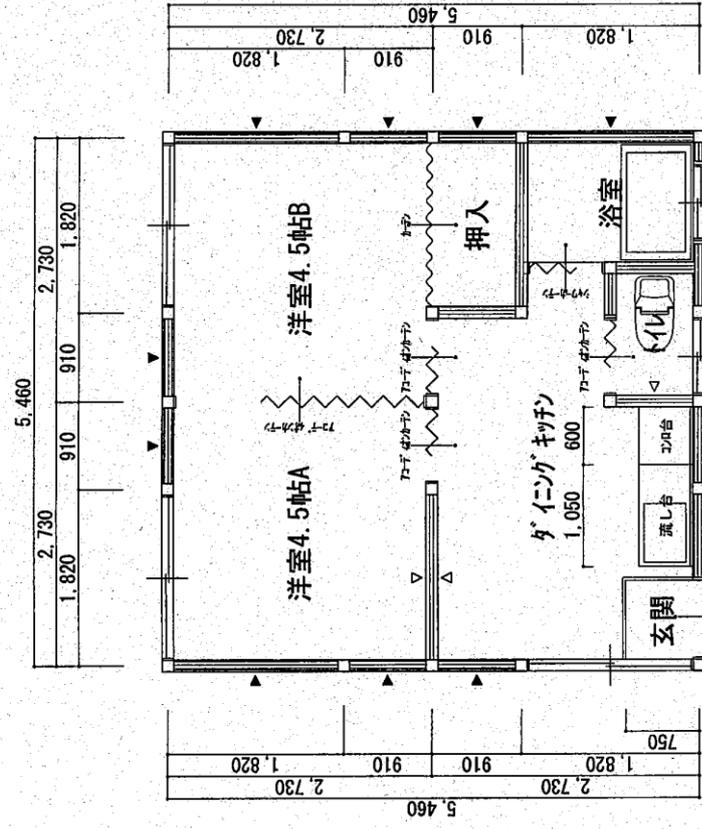


北側立面図 S:1/100

南側立面図 S:1/100

西側立面図 S:1/100

東側立面図 S:1/100



1,820	910	910	1,820	1,820	1,365	1,820
910	1,820	1,820	1,365	5,460	1,365	1,820

平面図 S:1/50

床面積: 29.8116㎡ (9.00坪)
 建築面積: 29.8116㎡ (9.00坪)

- <耐力壁凡例>
- ▽ 筋かい 30×90(97.7%) 壁倍率3.0
 - 筋かい 30×90(97.7%) 壁倍率1.5
 - 落とし込み壁 t=30抄板(9.5%) 壁倍率0.6

外 部	基 礎	外 壁	軒 裏	屋 根
から松熱処理 t=90 現わし	杉羽目板(自由) t=12 現わし 土台: 杉・新築 現わし	杉板 t=30 現わし	重木・野地板 現わし	7271林-2/2下地 杉・瓦葺 t=0.35 瓦葺き

内 部	床	壁	天井	備 考
玄関	仕上: 杉板 t=30 現わし	仕上: 杉板 t=30 現わし	仕上: 杉板 t=30 現わし	
リビングキッチン	下地: 杉板 t=30 仕上: 7271林-2/2	仕上: 杉板 t=30 現わし	仕上: 杉板 t=30 現わし	流し台 (W150×D550×H800) コナ台 (W600×D550×H30)
洋室4.5帖A	下地: 杉板 t=30 仕上: 杉板 t=30	仕上: 杉板 t=30 現わし	仕上: 杉板 t=30 現わし	7271林-2/2
洋室4.5帖B	下地: 杉板 t=30 仕上: 杉板 t=30	仕上: 杉板 t=30 現わし	仕上: 杉板 t=30 現わし	7271林-2/2
押入	仕上: 杉板 t=30 現わし	仕上: 杉板 t=30 現わし	仕上: 杉板 t=30 現わし	7271林-2/2
トイレ	下地: 杉板 t=30 仕上: 7271林-2/2	仕上: 杉板 t=30 現わし	仕上: 杉板 t=30 現わし	7271林-2/2
浴室	下地: 杉板 t=30 仕上: 7271林-2/2	仕上: 杉板 t=30 現わし	仕上: 杉板 t=30 現わし	7271林-2/2 洗式便座 (9寸手洗付)・暖房便座・暖房器 FRP浴槽 (W1200×D720×H565) シャワー・サウナ・水栓(備付: 1線通器)

工 事 名
東日本大震災 応急仮設住宅

備 考
 岩手県 応急仮設住宅標準図 2DK 9型

住 田 町
 〒029-2396 岩手県気仙郡住田町世田米字山向96-1
 TEL:0192146-2111 FAX:0192146-3515

管理 者
 担 当 者
 日 付
 日 付

図 面 名
平面図・立面図・仕上表

図 面 NO
 1

縮 尺
 1/50,100



大切にしたい仲間 そして挑戦する勇気

イベントを支えたスタッフたち



実行委員のほか、町出身の首都圏在住者もボランティアとして参加



住田の仮設住宅を東京に再現！

東日本大震災からの復興を支援！

首都圏でも大きな関心と呼ぶ



仮設住宅を建設する
住田住宅産業(株)の皆さん



仮設住宅を見学する方



坂本龍一さんも住宅内を見学



会議を重ねるスタッフ



町のため、復興のため



会議はいつも夜。

た」と話していました。

■岩手マルシェ
岩手マルシェでは町内若手農業者によるズッキーニやトマトなどの野菜、鶏・豚肉加工品はじめ、八木澤商店のしょう油、神田葡萄園のマスカットサイダー、盛岡市のペアレンビールといった品々を販売。キッチンカーも持ち込み、住田産野菜をふんだんに使ったピザなどを提供しました。

■イベントを終えて
来場者は3日間でおよそ7万人。坂本龍一さんのほか、首都圏在住の本町出身者らも会場を訪れ、人口約6000人の小さな町が、東京の中心地で町をPRする姿は素晴らしい」との声が寄せられました。

なお、今回の収益の一部は、LIFE311に寄付されます。実行委員長として忙しい日々を過ごしてきた松田昇さんは、「東京のと真ん中で住田町をPRできたことを誇りに思う。このイベントにより、多くの仲間ができた。様々な人と交流する支援につながることをお願い、そして、町のためになればうれしいです」と話していました。

■今回の企画
このイベントは、森林保全体モア・トゥリーズが主催し、国際森林年に合わせ、木に触れて森を学ぶ場を提供しようと企画されたものです。そして、本町の仮設住宅建設を支援しようと展開するプロジェクト「LIFE311」の一環として開催されました。

町では、このイベントに合わせ「LIFE311住田夏まつり in 六本木ヒルズ」実行委員会（松田昇実行委員長）を立ち上げ、住田型仮設住宅の展示準備や町のPR方法について5月下旬から毎週会議を開いて検討してきました。

■住田型仮設住宅
住田型仮設住宅は、住田住宅産業(株)（佐々木一彦社長）の社員が開催前に、急ピッチで建設。この住宅は、報道を通じて全国的に話題になったことから関心も高く、来場者たちは外観だけでなく内部も熱心に見学し、木のぬくもりや機能性を体感していました。

仮設住宅に実際に入り見学した方からは、木のぬくもりが感じられ安心する建物。被災者のためにいち早く設置した住田町の取り組みに興味を惹かれました。

大船渡市民文化会館・市立図書館(愛称:リアスホール)

〒 022-0003 岩手県大船渡市盛町字下館下 18-1

◆概要

■構造 鉄筋コンクリート造・一部鉄骨造 地上4階、地下1階建

■建築面積 5,238 平方メートル

■延床面積 9,128 平方メートル

■駐車場 230 台

◆ホールゾーン

【大ホール】

三陸の豊かな海から打ち寄せる波が削り出した磯が、このホールのイメージです。天井は空を漂う雲、壁は打ち寄せる波、客席は岩や船団、座席の背もたれはさざ波を表しています。

リアス式海岸の代表地・大船渡の海の多彩な情景を写し出すため検討を重ね、座席は、100種類の布地を織り、8色の生地を選定してレイアウトしました。

緞帳は印象派の絵画に描かれた海の静けさをイメージして作りました。

客席 1階席 椅子席 652席、車椅子席 10席、親子席 8席

2階席 椅子席 430席

舞台面積 542.21 平方メートル

プロセニウム開口 14～18.5 m

プロセニウム高さ 8.8～13 m

奥行き 13.5 m

◆ファクトリーゾーン

「ファクトリー」とは、ただ観ているだけでなく、市民が参加し、つくりあげていく場であり、施設の機能を最大限に活用し、みんなで考え、協力し合いながら大船渡ならではの夢を形にできる空間です。

【マルチスペース】

可動客席数 244席 (演台・客席段床設置)

面積 246.05 平方メートル

キャットウォーク高さ 7.5 m

仮設舞台 高さ 42.4センチ・63.6センチ

7間×4間 (最大)

吊物設備 美術バトン 5本 (電動昇降)

照明バトン 5本

東西バトン 2本 (電動昇降)

巻取水平バトン 1本 (電動昇降)

映像設備 ビデオプロジェクター

【その他の施設】

会議室

展示ギャラリー

アトリエ

和室・茶室

スタジオ

練習室

◆図書館ゾーン

児童書架、お話室、学習室、新聞・雑誌コーナー、青少年コーナー、一般書架・閲覧コーナー、閲覧室（郷土資料室）、ボランティア室、ブックモービル（移動図書館車）書庫・車庫、閉架書庫などを整備。

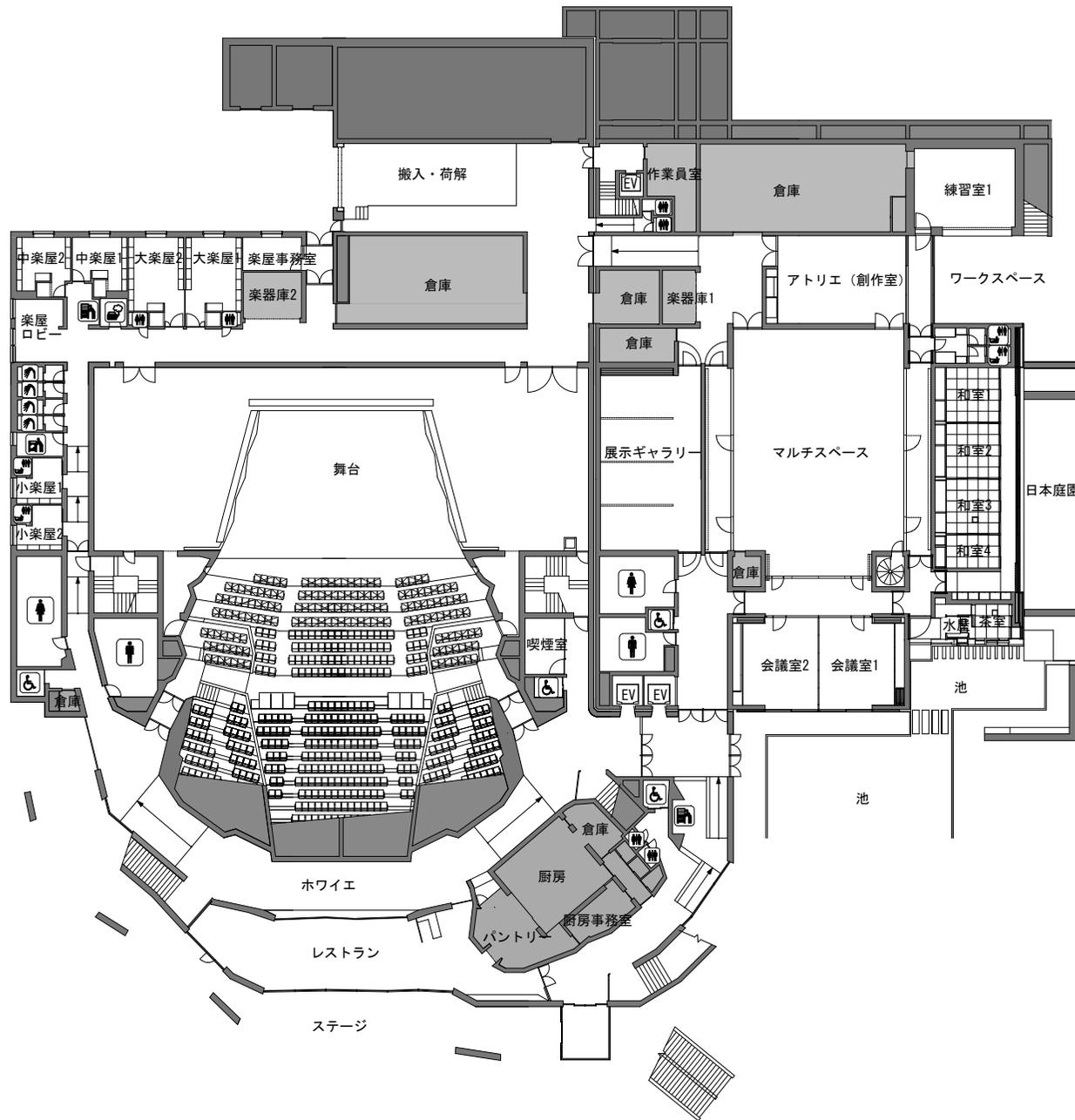
受付は、3階にサービスカウンター、2階にサブカウンターを設け、貸し出し・返却時の利便を図っています。

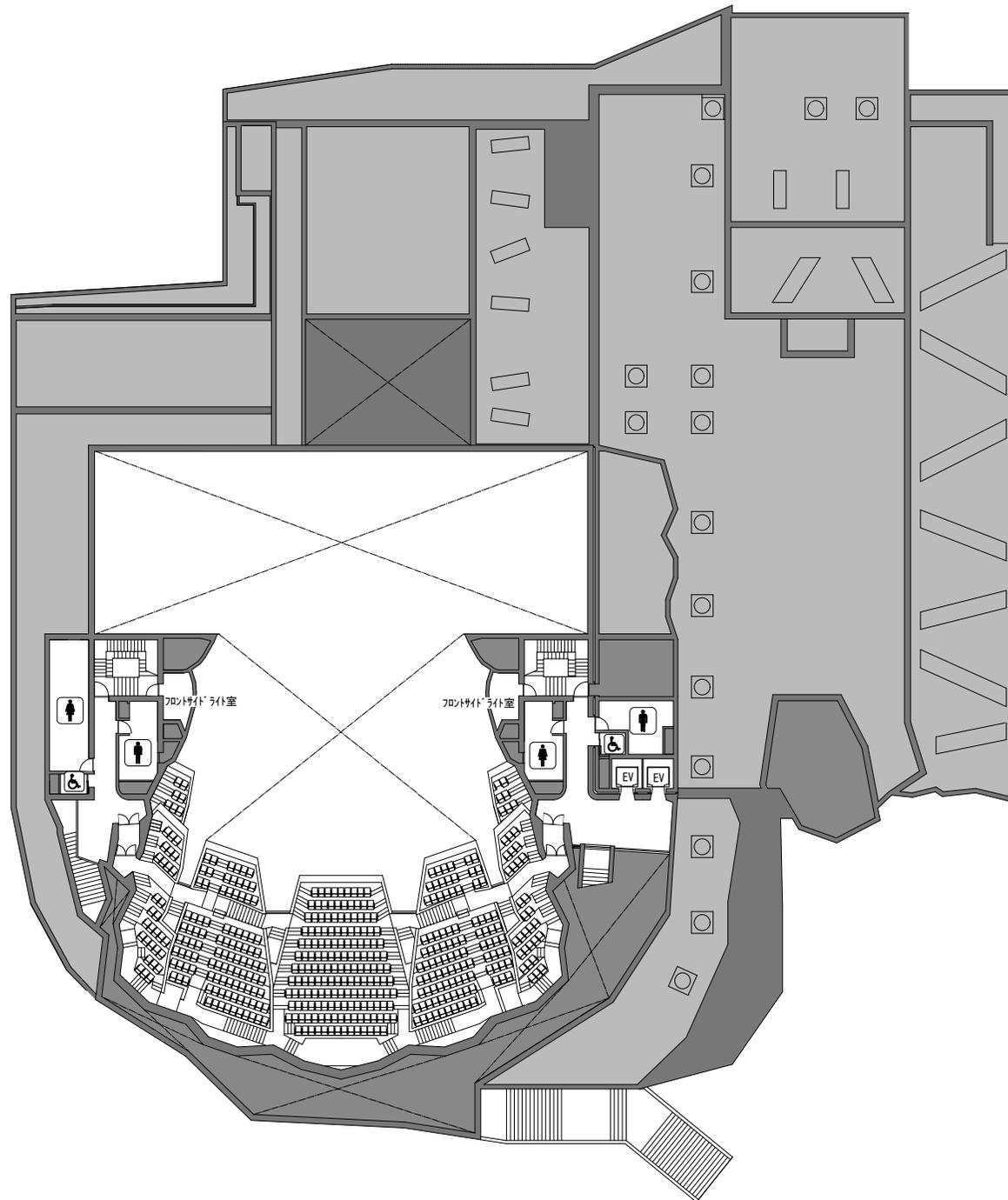
児童書架 30 席

学習室 20 席

青少年コーナー 20 席

一般書架・閲覧コーナー 39 席







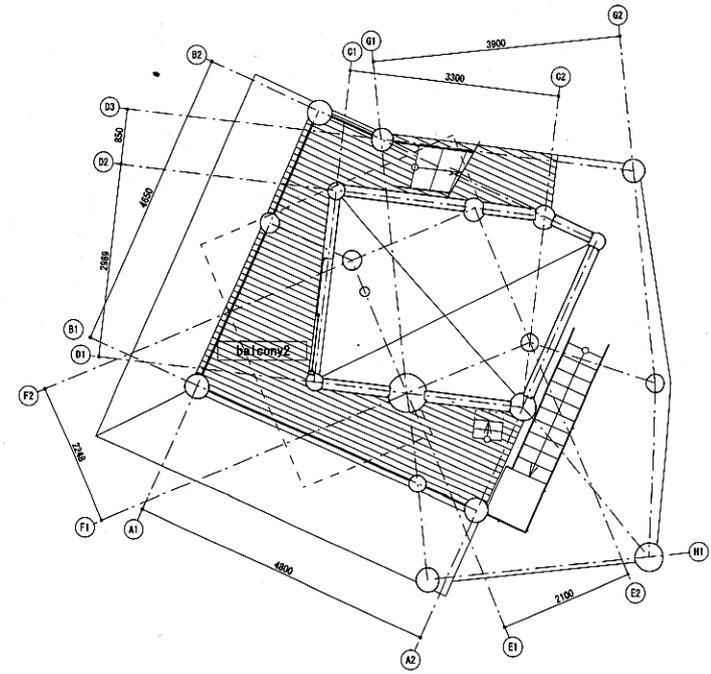
舞台間口	幅 18,958mm (可動ウイング設置時:16,000mm) 高さ13,000mm
奥行	13,220mm (舞台框からボラント幕まで)

陸前高田の「みんなの家」図面

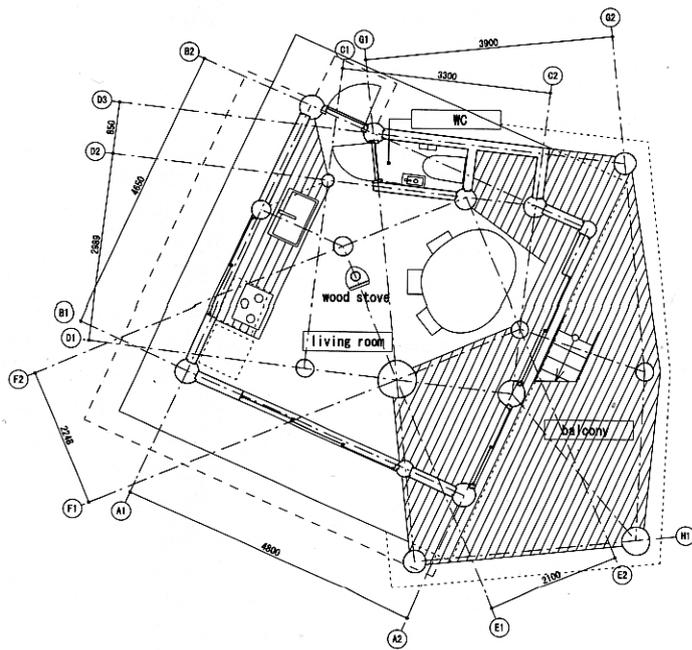
Drawings for the "Home-for-All" of Rikuzentakata



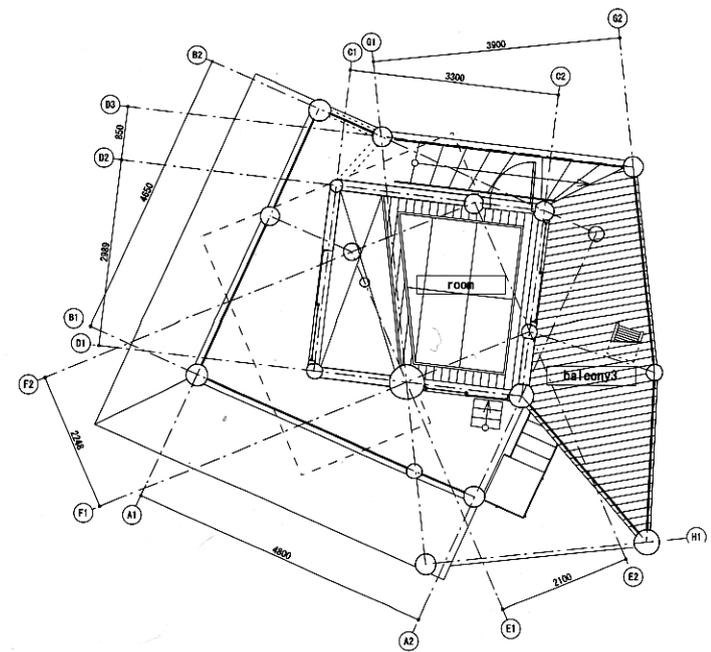
Site Plan 1:800



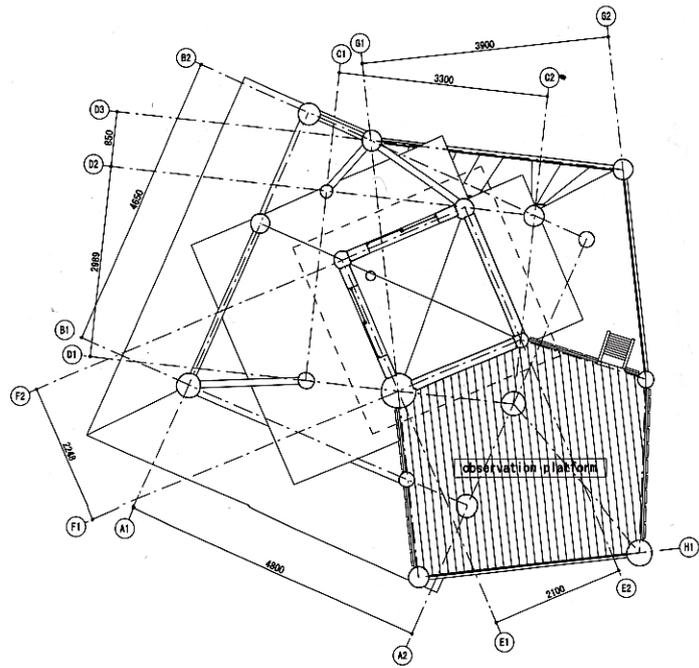
Plan +3000 1:120



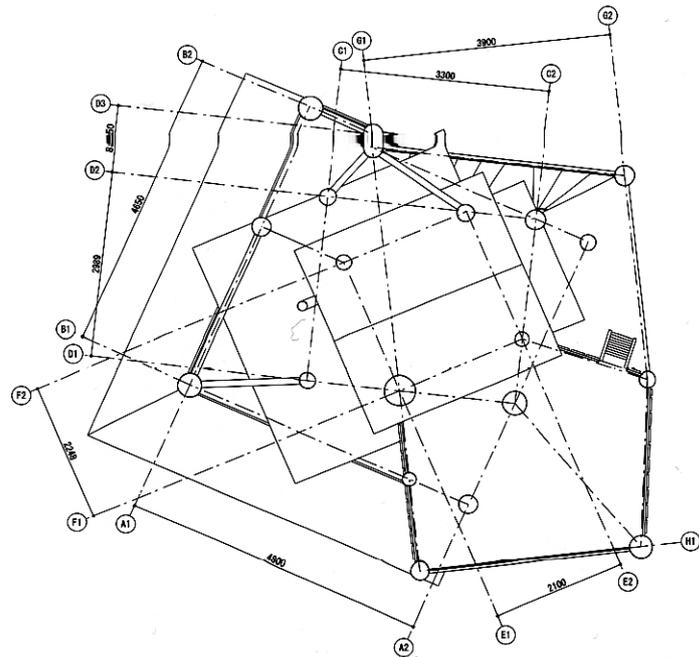
Plan +1000 1:120



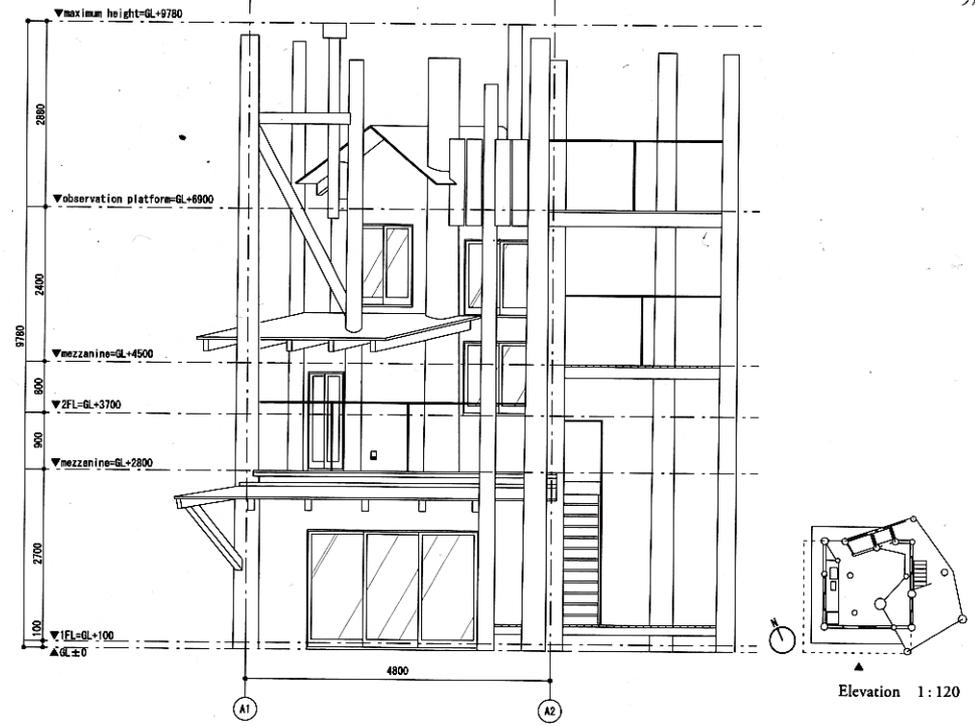
Plan +5000 1:120



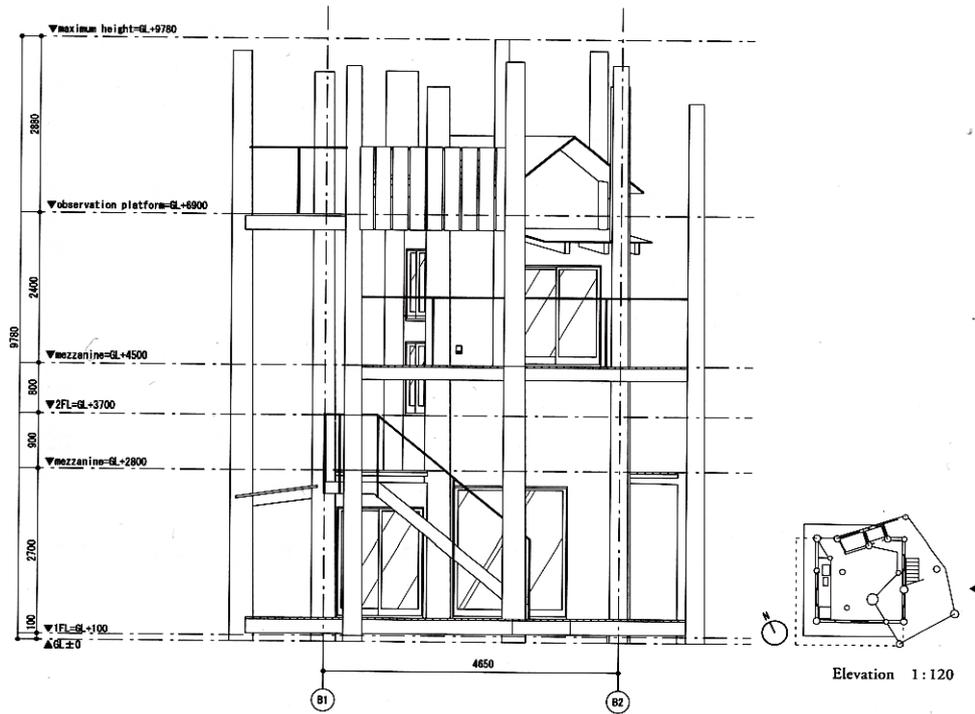
Plan +7000 1:120



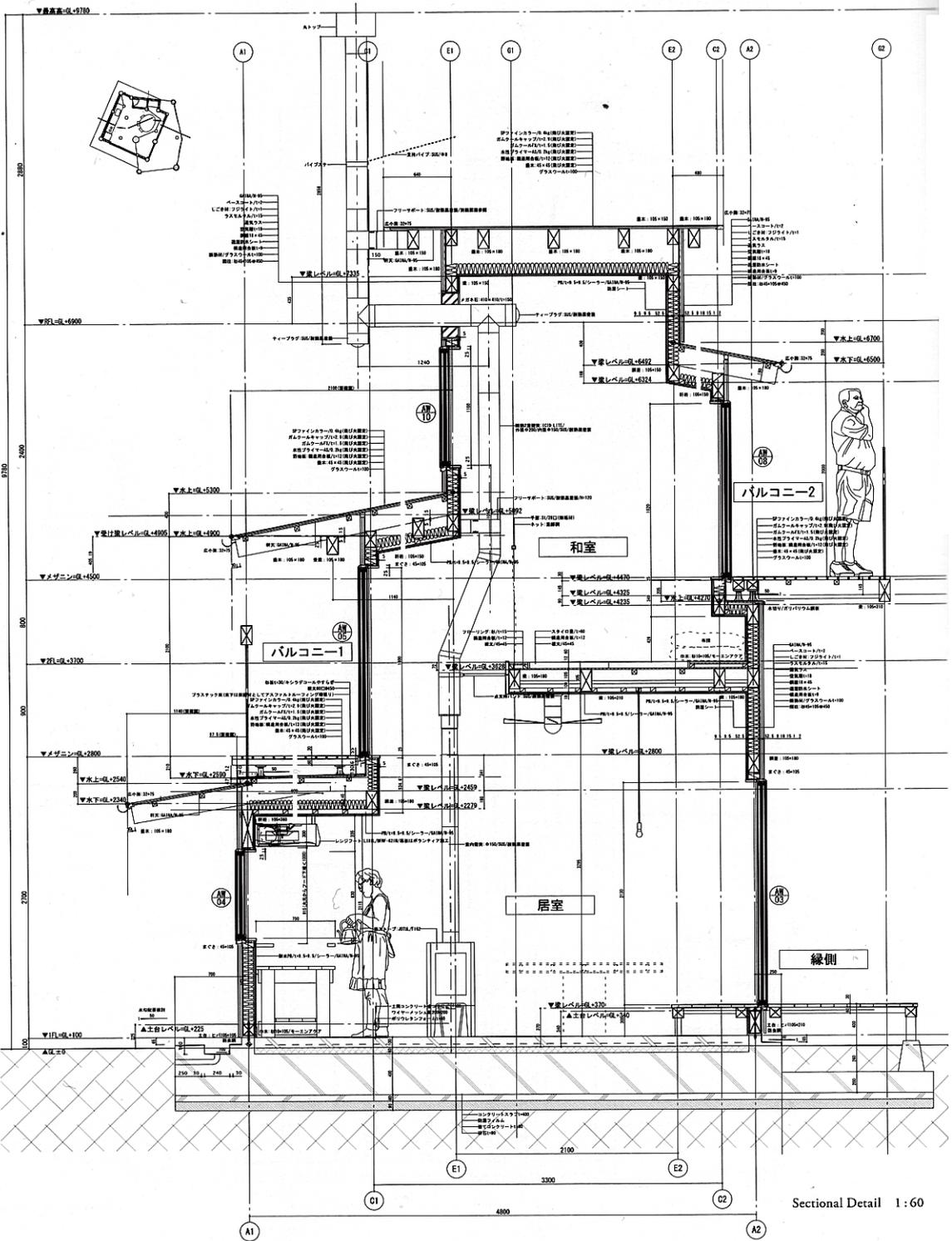
Roof Plan 1:120



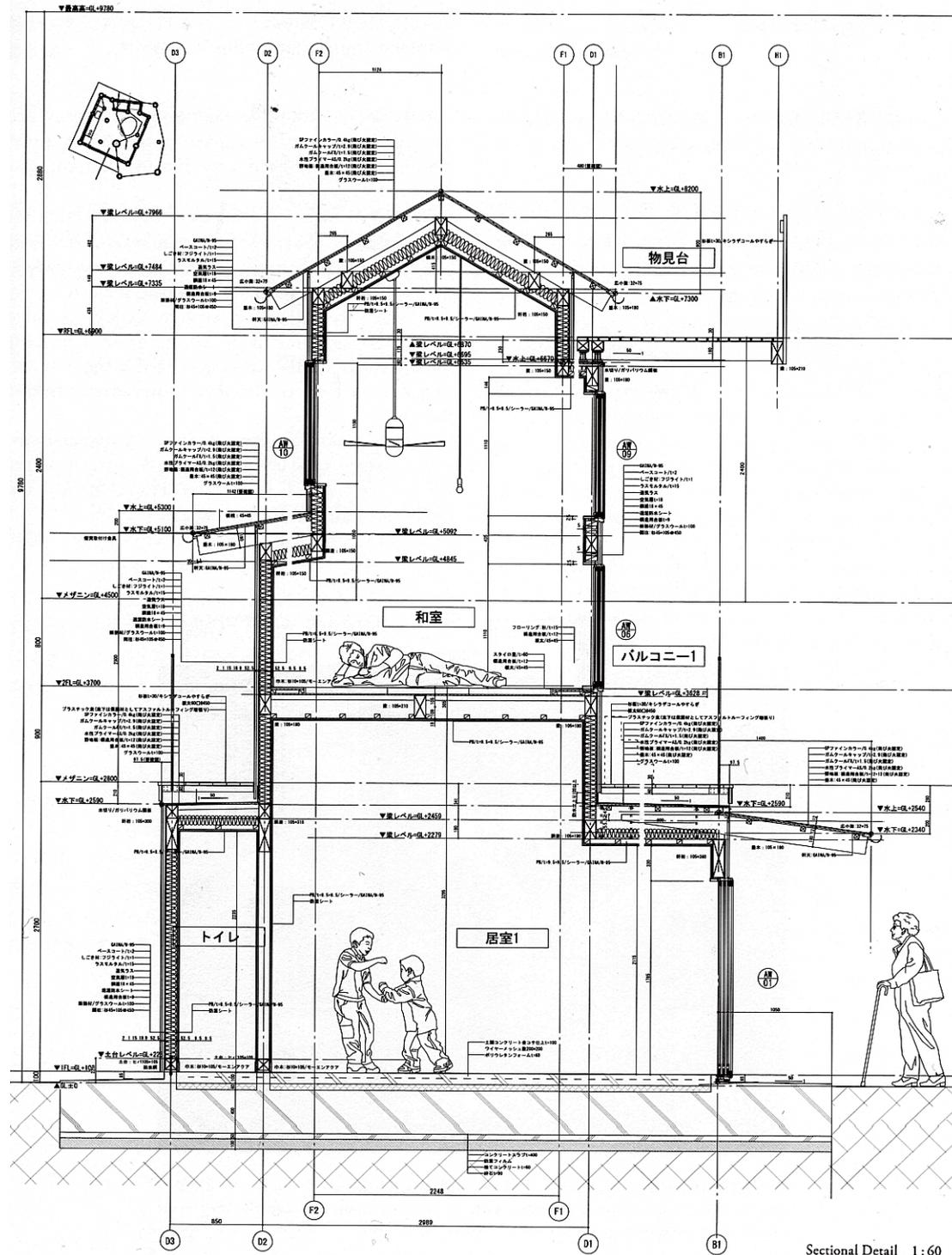
Elevation 1:120



Elevation 1:120



Sectional Detail 1:60



Sectional Detail 1:60

特集：

仮設による地域の拠点

東日本大震災から9カ月 ——協働から生まれる建築の姿

震災発生から9カ月が経過し、仮設建築の建設が各地で進められてきました。本特集ではこうした23の取り組みを通して、つくり手と使い手が協働してつくる地域の拠点を紹介します。（編）



- 107 竹の会所—復興の方舟— 滋賀県立大学陶器造一研究室+高橋工業
- 117. くまもとアートポリス東北支援「みんなの家」 くまもとアートポリスコミッショナー：伊東豊雄 同アドバイザー：桂英昭 末廣香織 曾我部昌史・くまもとアートポリス東北支援「みんなの家」建設推進委員会
- 124 志津川番屋プロジェクト 宮城大学竹内研究室
- 128 KAMAISHIの箱 難波和彦・界工作舎+はりゅうウッドスタジオ+日本大学工学部建築部 智義研究室
- 133 CycleII—志津川小アクションリサーチプロジェクト— フレイグラウンド・サポートーズ/千葉工業大学石原研究室
- 139 宝来館の顔 宮本佳明
- 140 鶴住居の合掌 垣内光司/八百光設計部
- 142 箱崎町の番屋 エコパーチ・シェルター 水谷嘉信建築設計事務所
- 144 仮設建築モデル どんぐりハウス 杉本洋文+東海大学チャレンジセンター 3.11生活復興支援プロジェクト
- 146 小さな積み木の家<集会所> 九州産業大学矢作昌生研究室+九州工業大学徳田光弘研究室+矢作昌生建築設計事務所
- 148 エクスコンテナ・プロジェクト 吉村靖孝建築設計事務所
- 150 歌津コミュニティバビリオン HarvardGSD+慶応義塾大学大学院+宮城大学
- 151 パーバードル5丁目 MIT Japan 3/11 Initiative Project Team
- 153 女川町仮設住宅 ボランティア・アーキテツ・ネットワーク (VAN) 坂茂建築設計 TSP太陽
- 160 仮設集会所施設ロハス計画 日本大学工学部浦辺智義研究室+はりゅうウッドスタジオ
- 166 遠野市仮設住宅 希望の郷「絆」 大月敏雄+富安亮輔+井本佐保里/東京大学高齢社会総合研究機構 リンデンバウム遠野
- 172 石巻市北上町白浜復興住宅 結設計室
- 174 南三陸町歌津応急仮設住宅 針生承一建築研究所+宮城県森林組合連合会+登米町森林組合
- 175 モバイル・すまいる NPO法人 N・C・S山下保博xアトリエ・天工人
- 175 福島県応急仮設住宅南相馬集会場 東北大学工学部研究科五十嵐太郎研究室+はりゅうウッドスタジオ

記事

- 122 被災地と建築家を結ぶプラットフォーム—アーキエイドの復興支援 磯達雄
- 152 利用権の共同化による復興 西郷真理子
- 176 仮設のトリセツを通して 建築との関わり方 岩佐明彦

仮設建築の法的な定義

応急仮設住宅：

災害救助法を根拠とする救助のひとつとして、都道府県が建設、市町村が用地確保・管理を行う。「応急仮設建築物」として建築基準法を始め道路法、景観法、都市緑地法、道路法などの適用外にある。設置期間は原則2年。

仮設建築物：

建築基準法第85条により制限が緩和される仮設建築物は、非常災害があった場合、破損した建築物の応急の修繕、国や地方公共団体、日本赤十字社が災害救助のために建築するもの、被災者が自ら使用するためにつくるもので延べ面積が30㎡以内の建築物のいずれか。災害の発生から1カ月以内に工事に着手したものは、防火地域内に建設されたのであれば、建築基準法令の規定が適用されない。

恒久建築物：

建築基準法の規定の下で確認申請を行ったもの。防火・準防火地域外で床面積が10㎡以内の建物は、確認申請の必要がない。

復興への取り組み (2011年11月24日現在)

国土交通省：

6月1日より津波被災市町村の復興手法検討調査を全国62市町村で行い、各地域によってさまざまな異なる被災状況を調査。うち43の市町村に対して、各自自治体の都市計画、まちづくりの指針を提案している。

岩手県：

応急仮設住宅は13,984戸が完成。平成24年度から岩手県と市町村が主体となり、公的賃貸の復興住宅を4,000から5,000戸程度建設する予定。県、各市町村の自治体で都市計画やまちづくりに関する検討委員会を組織し、住人とともに協議をすすめている。防潮堤は各地の被害状況に応じて補強が施され、最大で15.5mまでかさ上げされる。同年度の下旬に着工する見通し。

宮城県：

応急仮設住宅は22,042戸が完成。12月26日に気仙沼市で竣工する52戸をもって、応急仮設住宅の建設は完了する予定。平成23～25年の期間に災害公営住宅を12,000戸が建設される。宮城県内の被災地では11月の初旬まで建築基準法第84条の下に建築物の建設に規制がかけられており、現在は一部市町村で第39条の下に規制がかけられている。

福島県：

応急仮設住宅は15,650戸が完成。復興住宅と共に追加して建設される予定はあるが、福島第1原子力発電所の影響により具体的な数は未定。相馬市・南相馬市・新地町では建築基準法第39条に基づいて条例を発し、堤防、防潮堤、避難施設などのインフラが建設されるまでの間、建物の建設を規制している。

●案内図は新建築Onlineへ
http://bit.ly/sk1210_map

所在地 宮城県本吉郡南三陸町

主要用途 幼稚園

建主 公益財団法人日本ユニセフ協会

設計

建築・監理 手塚貴晴+手塚由比/手塚建

築研究所

担当/麻殖生龍哉 荒木成文

北村岳大 太田健裕

構造・監理 今川憲英/TIS&PARTNERS

担当/猪田大介 南陽二

設備 ぼんぼり光環境計画(照明設計)

担当/角館政英 若山香保

家具 E&Y

担当/松澤剛

施工

建築 中東

担当/宮越久志 杉本良平 福川広

空調・衛生 北陽エンジニアリング

担当/和泉好則

電気 今出電気商会

担当/山田快朝

規模

敷地面積 1,819.69m²

建築面積 359.48m²

延床面積 287.64m²

1階 287.64m²

建蔽率 19.76% (許容: 70%)

容積率 15.81% (許容: 200%)

階数 地上1階

寸法

最高高 4,912mm

軒高 4,520mm

天井高 2,300mm

主なスパン 3,640mm×3,640mm

敷地条件

地域地区 都市計画区域内 区域区分非設定

構造

主体構造 木造

杭・基礎 ベタ基礎

設備

空調設備

空調方式

暖房方式/ヒートポンプエアコン(オンドル式
 輻射熱暖房)

冷房方式/ヒートポンプエアコン

防災設備

消火 消火器

その他 自動火災報知設備

工程

設計期間 2011年9月~2012年2月

施工期間 2012年2月~7月

外部仕上げ

屋根 塩化ビニルシート防水(住ベシート防
 水: DNシート)

開口部 木製建具(スギ)

内部仕上げ

床 スギ板無垢材

天井 構造用合板

トイレ

床 ビニル床シート(東リ: フロアリュームブ
 レー)

天井 構造用合板

建具仕上げ ラワン

主な使用機器

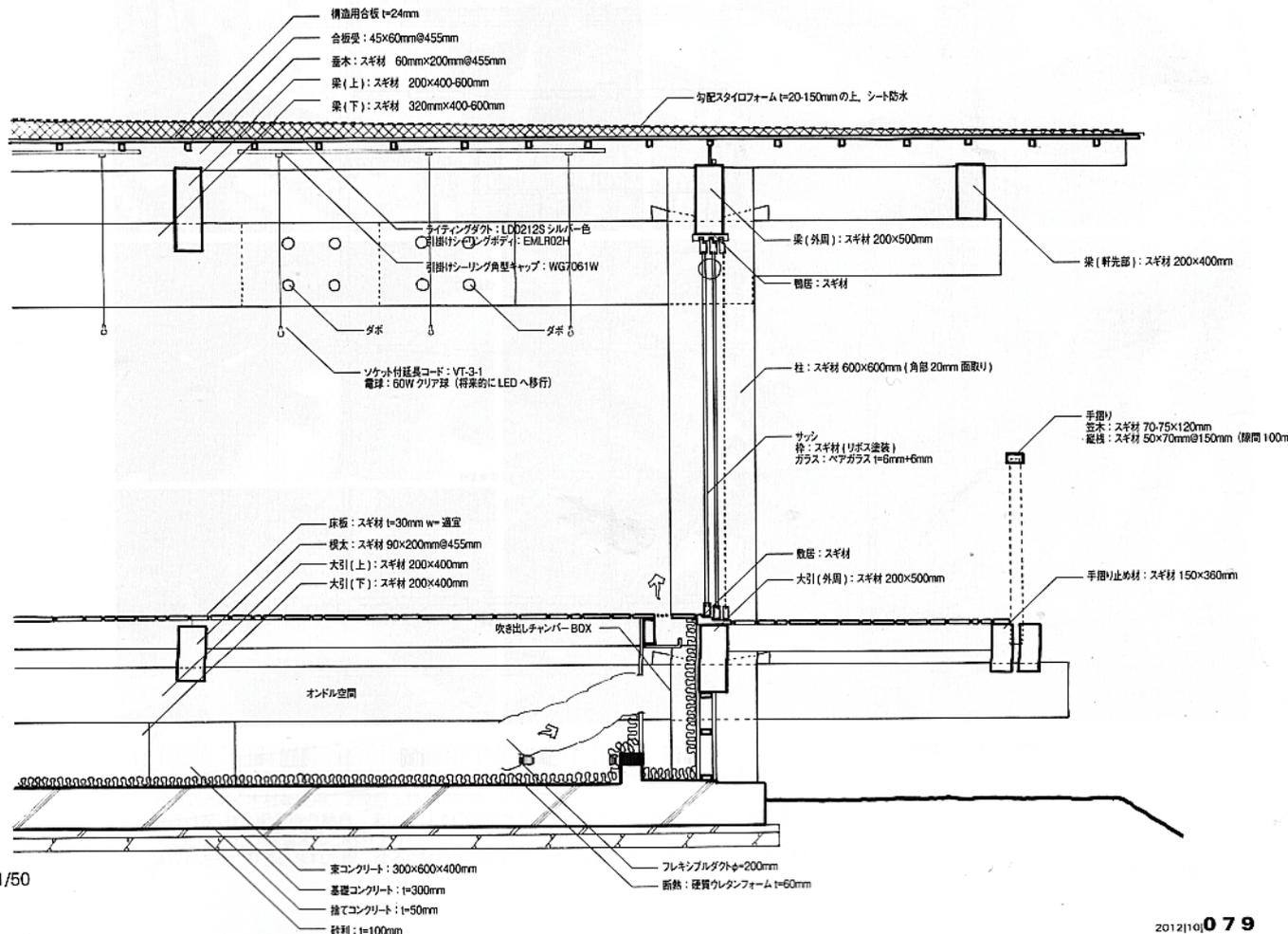
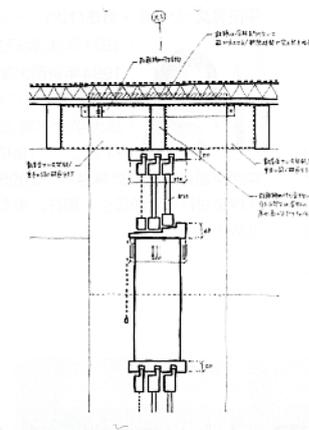
厨房機器 AEG

衛生機器 TOTO

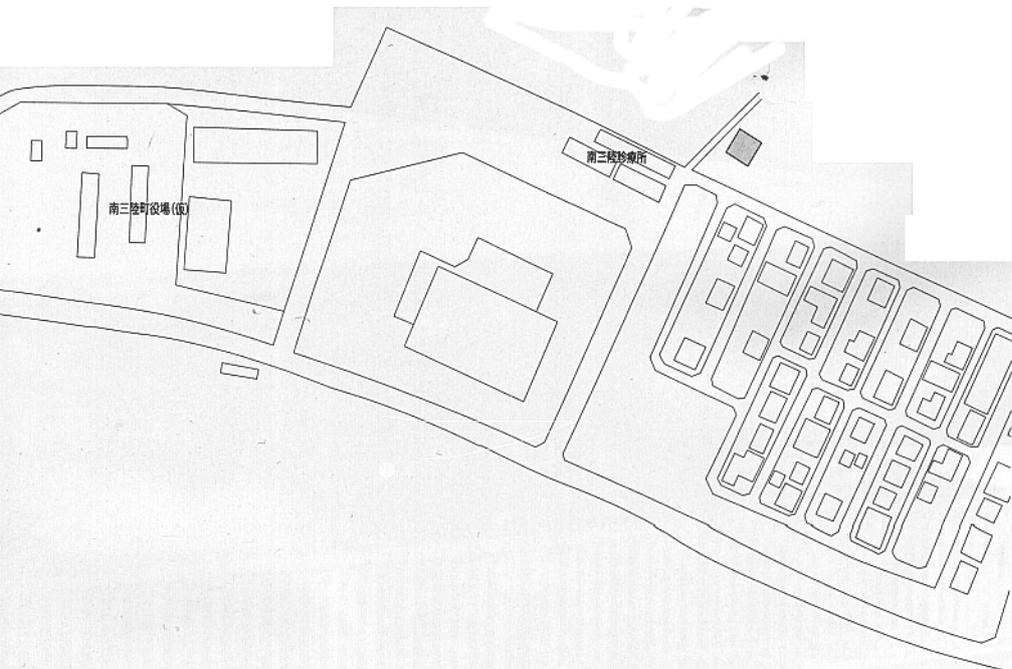
照明器具 パナソニック電工



柱と梁の嵌合結合風景。

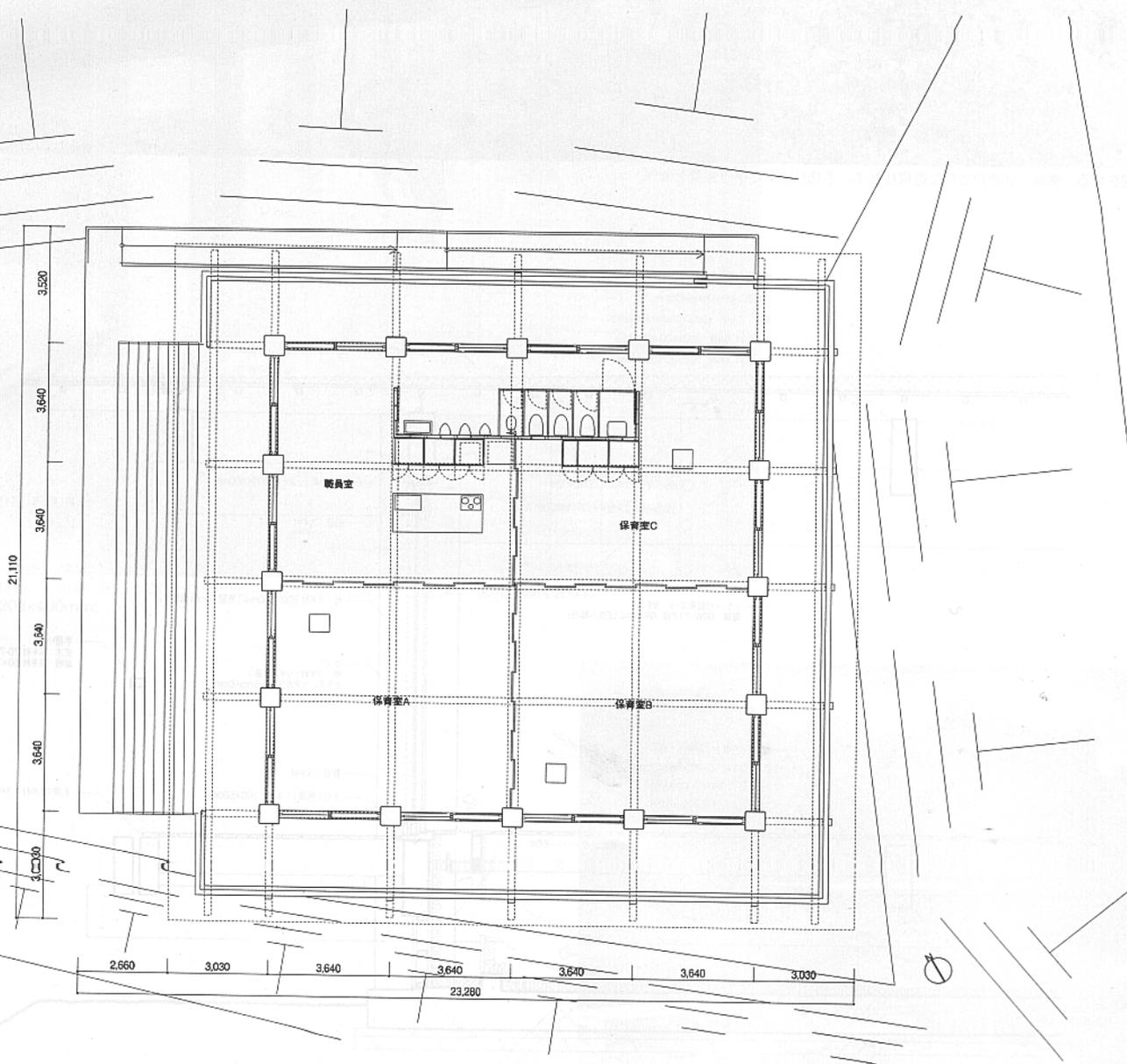


断面詳細 縮尺1/50



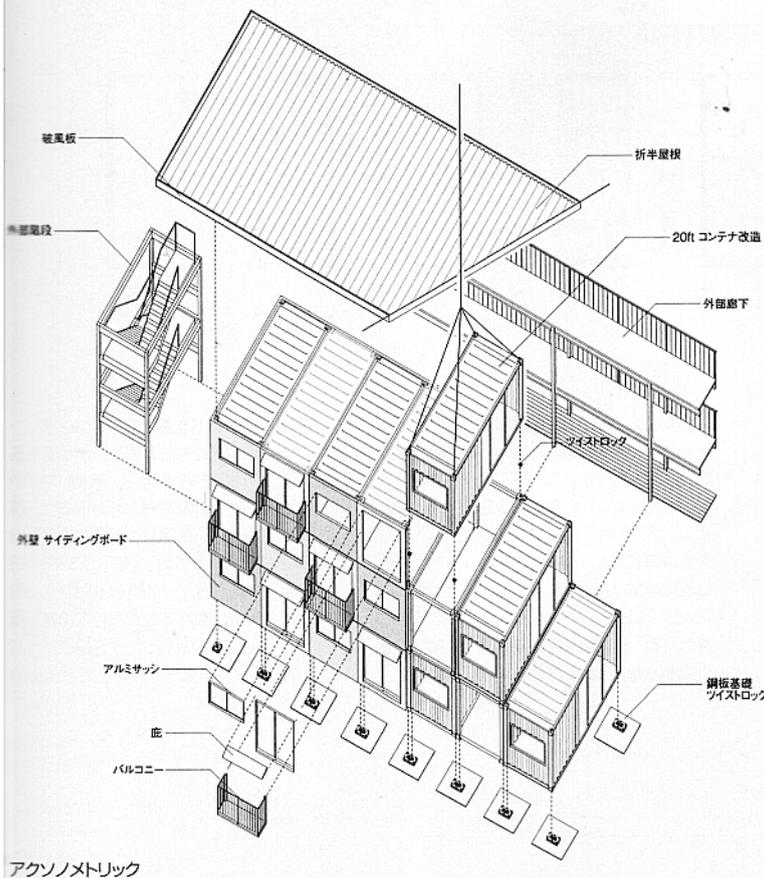
設計 建築 手塚貴晴+手塚由比/手塚建築研究所
 構造 今川憲英/TIS&PARTNERS
 設備 角館政英/ぼんぼり光環境計画(照明設計)
 施工 中東
 敷地面積 1,819.69m²
 建築面積 359.48m²
 延床面積 287.64m²
 階数 地上1階
 構造 木造
 工期 2012年2月~7月
 撮影 新建築社写真部(特記を除く.)
 (データシート192頁)

広域 縮尺1/6,000

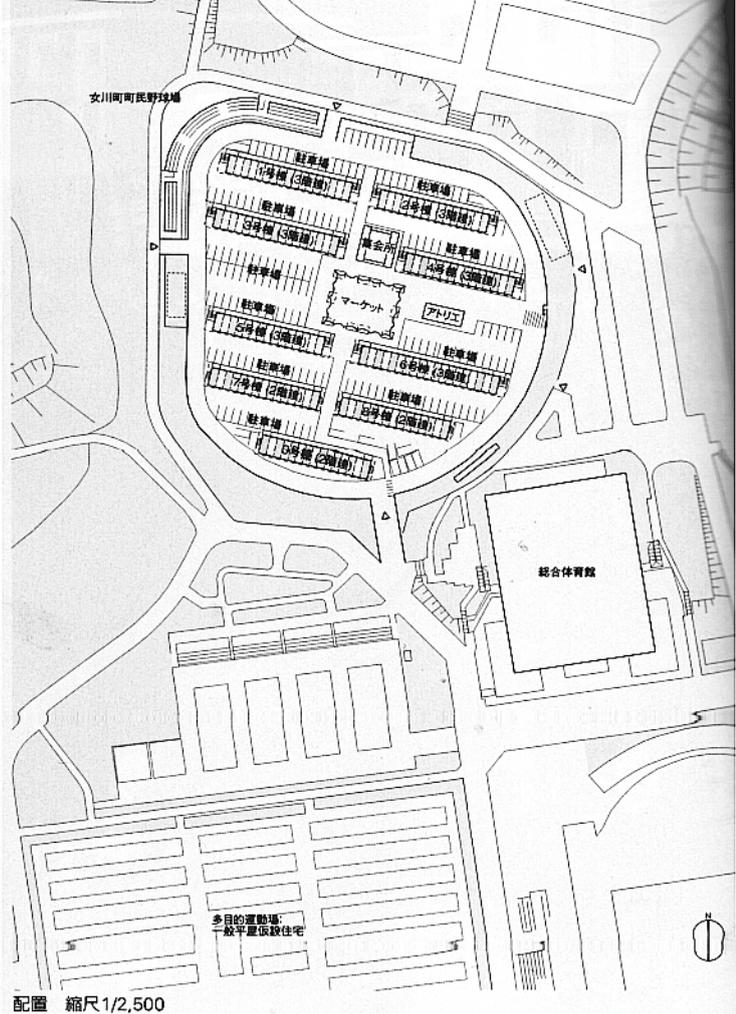


平面 縮尺1/200

女川仮設住宅群



アクソノメトリック



配置 縮尺1/2,500

次の震災に備えて

今、バリ島に向かう機内で「神様のカルテ」という映画を見た。地方の小さな町の病院で忙しく働く若い医師が都会の有名大学病院からの誘いを断り、地域のために生きていく、というストーリーである。

先日トルコのワン (Van) で地震があり、その支援のために現地入りした日本人のNGOスタッフが余震のため倒壊したホテルで亡くなった。

今回の東日本地震で壊滅的な被害を受けた宮城県女川町で189世帯の3階建仮設住宅が完成し、そのニュースを見たトルコ人建築家からワンでも同じような仮設住宅の建設支援に来てもらえないかというメールを受けた。支援の可能性を受け入れたが、トルコにすぐに入るのではなく、リゾートホテルのプロジェクトのためバリへ行くことを優先させた。東北地方太平洋沖地震後は避難所の間仕切りづくり (本誌1105)、女川町の仮設住宅建設、そしてニュージーランド・クライストチャーチ地震後の仮設教会建設と、ボランティアの仕事で忙しい。そんな時にリゾートホテルの話はとても魅力的であった。1994年のルワンダ難民用シェルター開発の仕事、そして95年の阪神大震災後に始めた災害支援のボランティア活動と、建築作品を作る仕事のバランスと意義を、17年来の試行錯誤である程度自分なりに確立できていたつもりでいたが、機内で見えた映画のせいで、再び自分の建築家としての生き方に迷いを持ってしまった。

今回の震災直後から50カ所以上の避難所で、1,800ユニット (2m×2mユニット) 以上の家族間のプライバシーを確保するための間仕切りをつくって

る折に、町に十分な平地がなく、十分な数の仮設住宅が建設できないという悩みを女川町の安住宣孝町長から聞いた。そこでこれまで温めていた海上輸送用のコンテナを使った3階建仮設住宅を提案した。構造的にも防災的にも問題がないこのシステムも、前例がないということで建設許可が下りるのに予想以上の時間がかかってしまったが、町長の英断のお陰で実現することが可能となった。これまでもコンテナを使った建築は世界中にあったが、われわれのシステムの特徴はコンテナを市松模様に積み、比較的狭いコンテナの中に子ども部屋とバス・トイレを入れ、コンテナとコンテナの間のオープンな空間に全面ガラスを入れ、開放的なLDKをつくれることである。県の予算を使うため、室内の大きさは他の一般平屋仮設住宅と同じ基準に合わせた。しかし一般仮設住宅は十分な収納がなく、家中に物や服があふれたり、後から買った家具だらけで室内が狭くなり、物と物の透き間で生活せざるを得ない状況である。それを解消し、美しく広々とした生活ができるようわれわれが集めた義援金を使って、ボランティアにつくり付け家具をつくってもらい、十分な収納があり、すっきりとした室内空間をつくった。

食卓は坂本龍一氏の守る森から出た間伐材を使いルイ・ヴィトン・ジャンプの援助で、紙管の脚でテーブルにも卓袱台にもなる机を備え付け、窓やつくり付け家具には良品計画寄付のカーテンで部屋をすっきりさせた。

また多層にすることにより、棟間隔を11m余り取ることができ、町の要望の駐車場やコミュニティ施設

として、集会所や日常的な買い物ができるマーケット (坂本龍一氏寄贈)、さまざまな教室ができるアトリウム (千住博氏寄贈)、さらに温泉を使った銭湯 (通称AKBath、秋元康氏寄贈) が仮設住宅の回りにでき、室内環境だけでなくコミュニティを形成しやすい周辺環境の充実を計った。

16年前の阪神大震災以来、プライバシーがなく人権をまったく無視した避難所や、住み心地の悪い貧しい仮設住宅が地震の度に問題になるが、政府は単に被災者の忍耐力と、大人しい日本人の国民性に甘えた無策を続けている。このままでは次に起こる震災後も同じことをやり続けるに違いない。しかし、そんなことをこれ以上許しておくわけにはいかない。今回つくった避難所の間仕切りや仮設住宅は、そのレベルアップの突破口として政府を動かす実例として使っていき考えである。 (坂 茂)

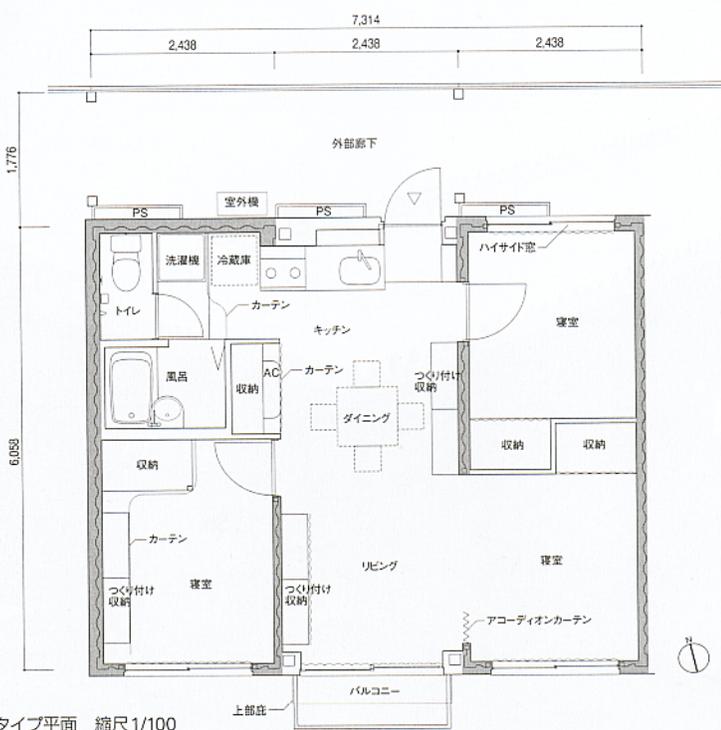
■応急仮設住宅 (災害救助法による)

設計 建築 ボランティア・アーキテクト・ネットワーク (VAN)
坂茂建築設計 TSP太陽
構造 Arup
設備 TSP太陽
施工 建築 TSP太陽
内部つくり付け収納 VAN
敷地面積 12,320m²

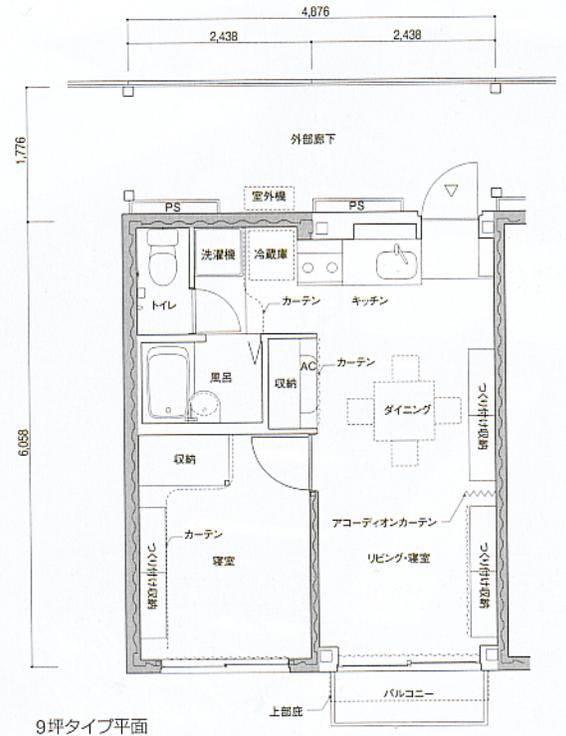
建築面積 3,284.04m² (住棟のみ)
延床面積 5,671.35m² (住棟のみ)
階数 地上2階、3階
構造 鉄骨造 (コンテナ積層構造)
工期 2011年8月~11月
災害後145日着工
設置期間 2年 (予定)
撮影 新建築社写真部 (特記を除く)
(データシート188頁)



9坪タイプ、ダイニングより見る。フレームコンテナによる開放的なLDK。右手に寝室。照明とカーテンは良品計画の提供による。

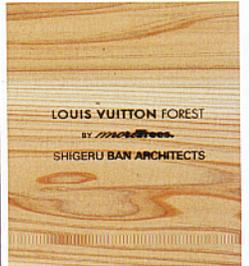


12坪タイプ平面 縮尺1/100



9坪タイプ平面

五2点提供：ボランティア・アーキテツク・ネットワーク (VAN)



左から、ボランティアによるつくり付け収納製作。つくり付け収納はVANに寄せられた義援金により設えられている。／収納をボランティアの手で取り付けしていく。／坂本龍一氏の呼び掛けによって設立された森林保全団体more Treesと、ルイ・ヴィトン・ジャパンの協力による、間伐材を天板とした机。紙管の脚は着脱可能。／天板の裏にサインが刻まれている。